

港区議会議員・黒崎ゆういちからのご報告

2022/4 > 2022/9

▶ 令和4年第2回港区議会定例会で審議を行いました (2022/6/8~17)

令和4年第2回港区議会定例会に出席し、総務常任委員会では鉄道開業150周年の補正予算についてや、小学校を含めた人工芝のメンテナンスなどについて意見を述べました。特に、子どもたちの安全な環境を守るためにも人工芝のメンテナンス問題については今後も注視していきたいと考えています。



▶ 令和4年第3回港区議会定例会で質疑を行いました (2022/9/8~10/6)

令和4年第3回港区議会定例会の2日目の一般質問を、自民党議員団のひとりとして登壇しました。質問内容は下記の通りです。



1. 総合力を発揮する組織体制について
 - (1) 総合支所長と支援部長の兼務体制について
 - (2) 交通政策と文化スポーツ政策の推進体制について
2. 円安・物価高騰等に対する支援策について
 - (1) 区民に対する支援について
 - (2) 港区との契約について

▶ 令和3年度決算特別委員会で「総務費」「環境清掃費」「土木費」「教育費」に関する質疑を行いました (2022/9/9~10/4)



令和3年度決算特別委員会にて以下の質疑を行いました。

・総務費

- 1 選挙執行・選挙運動のデジタル化について
- 2 選挙ポスター掲示場の設置場所について
- 3 選挙運動における道路交通法の事前説明や具体的な指導策について
- 4 衆議院議員選挙小選挙区の区割り変更について
- 5 巡回指導事業の整理・効率化について

・環境清掃費

- 1 ビル風対策について
- 2 屋外密閉型指定喫煙場所の今後の展開について

・土木費

- 1 港区開発事業に係る定住促進指導要綱について
- 2 港区らしいエリアマネジメントについて
- 3 神宮外苑地区市街地再開発事業の状況について

・教育費

- 1 学校施設開放について
- 2 生涯学習スポーツ振興課の体制について
- 3 スポーツ環境整備の推進状況について

教育委員会だけではスポーツ施設を作るのに限界があります。令和5年に見直しされる「定住促進指導要綱」の改定の中で、スポーツのできる場所やボールを使える場所、ドッグランなど今の港区に必要な場所を生み出せるよう今後も努力していきます。

▶ YouTubeチャンネルを開設しています

議会における質疑内容は、「黒崎ゆういちYouTubeチャンネル」にて発信しています。ぜひご視聴・チャンネル登録をお願いいたします。



▶ 「秩父宮みなとラグビーまつり 2022」を開催しました (2022/4/29)

3年ぶりに開催となった「秩父宮みなとラグビーまつり 2022 Supported by KOWA パンテリン」を4月24日に無事開催いたしました。特別協賛の興和様、特別協力のサントリー様、そして出展、登壇、ボランティア、チーム・リーグ・協会関係者の皆様のラグビーに対する思いがワールドカップ後、久しぶりに聖地・秩父宮ラグビー場で結集することができました。ラグビーを通じた地域交流に今後も取り組んでいきます。



▶ ヒビノ株式会社様とウクライナ人道危機救援金の募金と寄付金を武井港区長にお渡ししました (2022/5/24)

4月24日に開催された「秩父宮みなとラグビーまつり 2022」でウクライナ人道危機救援金の募金活動をされたヒビノ株式会社(東京都港区港南)の日比野晃久社長より、当日集まった150,649円に自社で100万円を上乗せした寄付金を武井雅昭港区長に本日お渡ししました。武井区長は日本赤十字社東京都支部港区地区長です。港区を通じて日本赤十字社に寄付され、救援活動の支援に充てられます。



会派：港区議会自民党議員団 副幹事長
所属：総務常任委員会 委員
交通・環境等対策特別委員会 副委員長
党：自由民主党東京都港区総支部政務調査会 会長

黒崎ゆういちってこんなヒト
港区生まれの45歳、AB型。学生時代をラグビー競技者として邁進。商社勤務やNPO等の組織運営経験を活かし、2015年港区議会議員に。ラグビーで身につけた「ワンフォーオール・オールフォーワン」の精神と突破力や、企業人経験から学んだビジネス創出力で、港区を前進めます。

▶ 1976年(昭和51年)港区赤坂生まれ
東京都港区立弁小学校卒業
明治大学付属中野中学校卒業
明治大学付属中野高等学校卒業
明治大学政治経済学部政治学科卒業/大学院修了
日商岩井株式会社・株式会社メタルワン 自民党政経塾 第9期生
NPO法人みなとラグビースクール会長
一般社団法人港区ラグビーフットボール協会会長
一般社団法人日本ブラインドラグビー協会副会長
関東ラグビーフットボール協会理事



港区議会議員・黒崎ゆういち事務所 〒108-0075 東京都港区港南2-4-7 石橋ビル4F
TEL：03-3450-9696 FAX：03-3450-8989

- ◎ 日々の活動を公式WEBサイトで随時更新中！ <https://kuro1.jp>
- ◎ Facebookではリアルタイムで発信中！ <https://www.facebook.com/kuro1.jp/>
- ◎ Twitterでは更にリアルタイムで発信中！ https://twitter.com/kuro1_jp
- ◎ 日々の活動レポートをアメブロで発信中！ <https://ameblo.jp/kurosaki-yuichi/>

- 黒崎ゆういち後援会へのご入会 & ご紹介は公式WEBサイトからお願いいたします
- 万が一お名前やご住所が間違っていたら大変恐縮ですがご一報いただければ幸いです



自由民主党 港区議会議員

黒崎ゆういち まちづくりレポート

> One for All All for One

港区を前へ!



発行 2022年11月1日
港区議会議員・黒崎ゆういち事務所
東京都港区港南2-4-7 石橋ビル4F
TEL:03-3450-9696 FAX:03-3450-8989
<https://kuro1.jp> info@kuro1.jp

2022.18

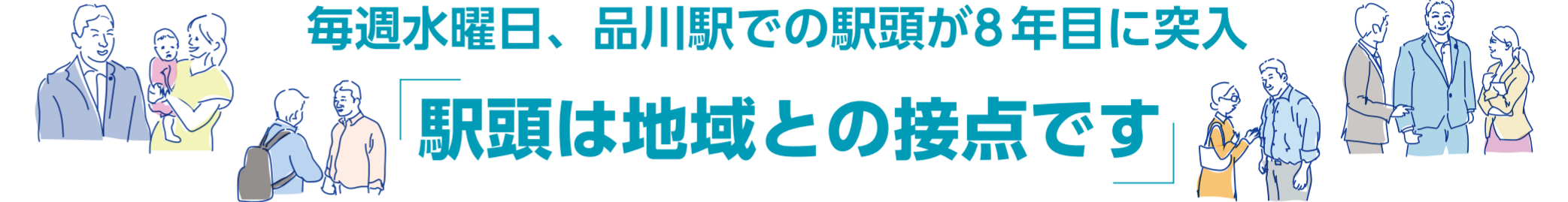
自民党 Lib Dems

Vol.18

特別企画 Interview 05 より良いまちづくりを目指して 港区と地域や区民をつなぐ皆さんと共に P.2-3

・駅頭は地域との接点です P.1
・公共政策修士の学位を取得 Kurosaki Eyes

黒崎ゆういちからの活動報告 2022/4 > 2022/9 P.4



地上のタクシー乗り場横での駅頭。保育園や運動場の不足から、区道工事での問題、喫煙所についてなど、さまざまなご相談をお受けしてきました。まちの困りごとやご意見を直接ご相談ください

2階のエスカレーター上デッキでの駅頭。緊急事態宣言時、この場所からの光景が毎朝ニュースで放送され、全国的に有名な場所になりましたが、今は通勤される方も以前の数にかなり戻ってきました



2015年1月に始めた、品川駅港南口での皆さまへのごあいさつ「駅頭(えきとう)」は、今年で8年目に突入しました。毎週水曜日、7時30分から9時までの90分間、エスカレーター上デッキまたはタクシー乗り場横に交互で立ち、通勤する皆さんにごあいさつさせていただいています。この駅頭は、港区議に初めて立候補する際に始め、当初は「自分の主張を伝えたい」という一心で、拡声器を使って演説を行う、一般的なスタイルの駅頭を行っていました。しかし、数カ月間の朝、皆さんの顔を見続ける中で、「それでなくてもゆううつな朝、これから通勤が始まるこの場所で大きな声は聞きたくないのではないかと気が付きました。それ以降、駅頭では「おはようございます、いってらっしゃいませ」とあいさつし、レポートをお渡しし、皆さんからのご相談を待つスタイルに切り替えました。

当初は「誰だ?」という雰囲気から始まり、時に厳しい声をいただくこともありましたが、今では立ち止まって声をかけてくださる方や会釈いただける方も多くいらっしゃいます。毎回見かけていた方に運動会やお祭りで声をかけていただいたり、ご相談いただくこともあり、続けることの大切さを日々感じています。駅頭の90分間に前を通られる方は、約1,500~1,600人。コロナ禍で減った時期もありましたが、現在は以前に近い人数に戻ってきています。通られる方には夜勤明けの方も多いため、港南にお住まいの方は半分程度でしょうか。この8年間、港南口は地下でリニアの工事が進むものの目に見える大きな変化はありませんでしたが、通られる皆さんのドラマはたくさん目にしました。転勤に行って戻ってこられた方もいましたし、自分が小学校の卒業式に出たお子さんが、

就職して通勤を始める姿も目にしました。この駅頭には継続的に「議員インターンシップ」に取り組む大学生のインターンも参加していますが、自分の区議としての姿勢を現場で学び、学生たちが成長する場になってほしいと思います。現在学生インターンを募集していますので、ご希望の方はお気軽にお声がけください。私がこの駅頭に立ち続けるのは、「困ったときに頼ってもらえる存在になりたい」という気持ちからです。「毎週水曜日の朝には、港南口に黒崎ゆういちがいる」と認識いただければ、そこを接点にしてもらえるのではないかと考えて継続しています。合わせて、偶数月第1月曜日には自らの事務所「区民相談会」も開催を続けています。皆さんの声を聞くことが、地方議員の原点です。自分と地域をつなぐ場所として、この駅頭や区民相談会をこれからも続けていきたいと思っています。

エリアマネジメントに関する研究に取り組み、「公共政策修士(専門職)」の学位を取得しました



近年、政府では社会人の学び直しである「リカレント教育」の推進を目指し、キャリア相談や費用の支援に取り組んでいます。文部科学省が提供する、社会人の学びを応援するポータルサイト「MANPASS」(<https://manpass.jp/>)では約5,000の大学・専門学校等の条件別講座検索が行えるなど情報提供も活発です。

私自身、港区議に初当選後から公共空間の活用に取り組む中で「エリアマネジメント」の手法を知り、自分自身にこの手法についての知識がもっと必要だと強く感じるようになりました。そこで、卒業した明治大学が公共政策のプロフェッショナルを育成するために設置した「明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科」での学び直しを決意。2年間、平日夜間と土日に受講を続け、2022年9月に「公共政策修士(専門職)」の学位を取得しました。

修士論文は「空間の活用を可能にしたエリアマネジメントの役割と手法に関する研究」です。研究過程では、公共政策が担う福祉や防災、危機管理、関連する法制度など広く知識を得ることで、空間の活用だけではなく、その空間に何が必要かという視点も常に持てるようになりました。まちづくりのコーディネイトは、利害関係のない議員だからこそできることである、という自分の立ち位置もあらためて明確になりました。

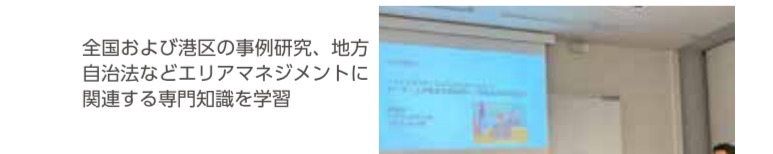
土地が狭く空地の少ない港区では、場所をプランディングすることでエリア全体の魅力を高める手法が有効です。そして、公共空間の活用で地域全体を発展させる際は、事業者の利

益になるだけでなく地域へ継続的に還元され続けるしくみも必要です。エリア開発は、「つくる」だけでは完成せず、「育てる」ことで新たな機能を付加し、継続的な価値の向上が求められます。住民と事業者などその地域の関係者が一体となって、主体的な取り組みが行えるよう、ノウハウを持つ人材や「ひと」のネットワークを活用できるプラットフォームの構築も加速させる必要があるでしょう。

今後は、研究を通して知り合えた、学識経験者の方々の意見もお聞きしながら、住む・働く皆さんが「あったらいいな」と思えるまちづくりに取り組んでいきます。



公共政策のプロフェッショナルを育成する「明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科」で2年間研究に取り組みました



全国および港区の事例研究、地方自治法などエリアマネジメントに関する専門知識を学習



エリアマネジメントに必要な要素が明確化し、議員だからこそできることを再認識しました